



それは労働災害かも！安全な職場づくりを考えてみませんか？

# ISO 45001

(JIS Q 45001)

労働安全衛生マネジメントシステム(OHSMS)のご案内





## なぜいま、 労働安全衛生マネジメントシステムが 必要なのでしょうか？

あらゆる組織にとって、働く人が安全で健康的に働ける職場環境を整備することは、最も重要な経営上の課題といえます。しかし、職場には私たちの気づかないところにも様々なリスクが潜んでおり、もし労働災害が起こってしまった場合には、被災者や家族が不幸になるばかりでなく、業務に支障をきたし、取引先や顧客、さらには社会からの評価を下げ、それまで長年に亘って築き上げてきた信頼や信用を一瞬にして損なうことにもなりかねません。

では、労働災害を防止するには、どうすればよいのでしょうか。

重要なポイントは、原因となるリスクをできるだけ少なくすること。

そのために、組織には、「労働安全衛生法」等の法令遵守だけでなく、自主的な労働災害防止の取り組みが求められてきました。

しかしながら、少子高齢化に伴う労働人口の減少による作業員不足や教育時間の不足、

また、作業の自動化や省力化から来る作業員の安全衛生に関する

感度や知識の低下といった様々な原因により、単なる現場での安全管理だけでは、

労働災害の防止には不十分となりつつあります。

そうした状況から、今、組織は職場の実態に即したリスク低減措置を継続的に実施し、

労働災害の防止に取り組むための“労働安全衛生マネジメントシステム”の

仕組みを構築し、積極的に運用していく必要があるのです。



## そこで開発されたのが、 ISO 45001です。

労働安全衛生マネジメントとは、働く人（派遣労働者及び請負者を含む）、訪問者、または近隣住民なども含めた人々の負傷や疾病を防ぐため、また、安全で健康的な職場づくりをするため、労働安全衛生に影響するか、影響を及ぼす可能性がある職場の条件や要因を管理するものです。そのため、組織内のあらゆる階層及び部署の連携が必要です。

職場の安全衛生水準を向上させることは、組織で働く人々の安全確保だけでなく、事業継続リスクの低減にもつながり、経営者にとって安定的な事業継続の一助となります。

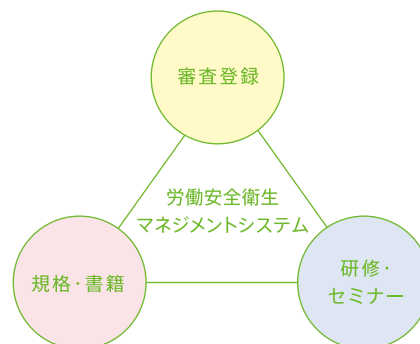
このような観点から、昨今、労働安全衛生マネジメントシステムに注目が集まっています。組織は、このシステムを導入し、前向きに取り組むことで、関係する法令順守の実証に留まらず、自主的な取り組みの推進を通じて、労働安全衛生パフォーマンスの向上を図ることができます。

労働安全衛生マネジメントシステムの規格としては従来OHSAS 18001がありますが、ISO（国際標準化機構）において、初の労働安全衛生マネジメントシステムの国際規格として、ISO 45001の開発が行われ、2018年3月12日にこの規格が発行されました。また、これと整合するJIS Q 45001が2018年9月28日に発行されました。国際規格の発行及び今後の普及に伴って、社会における労働安全衛生マネジメントシステムへの期待と活用はますます高まっていくものと思われます。

ISO 45001はISO 9001（品質マネジメントシステム）や14001（環境マネジメントシステム）、27001（情報セキュリティマネジメントシステム）など他のISOマネジメントシステムと整合した形で開発が進められていますので、それらを導入する組織は事業の全ての面にわたって一貫性のあるマネジメントシステムを運用することが可能となります。

## 日本規格協会は規格開発から審査登録まで トータルソリューションで安全な職場環境を提案します。

日本規格協会は標準化ナショナルセンターとして規格の開発はもとより、規格・書籍の販売、研修・セミナー、審査登録など、トータルソリューションで皆さまをサポートしています。





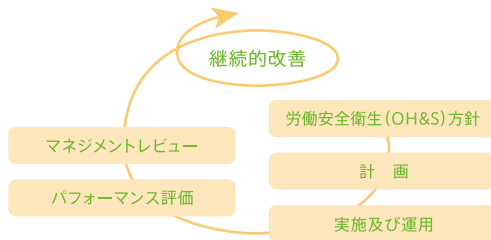
## 審査登録

日本規格協会では、品質管理の普及に努めてきた経験と、マネジメントシステム認証制度の確立から実施の過程で蓄積された審査技術や審査員育成のノウハウを活かし、公平性を重視した審査登録を行っています。これにより組織の社会的価値の向上に貢献しています。



## ISO 45001 認証

ISO 45001に基づくOHSMS認証を受け付けています。労働安全衛生に専門性の高い審査員によるISO 45001審査を通じて貴社の労働安全衛生マネジメントシステムのスパイラルアップに貢献します。



### 認証取得メリット

- ① コンプライアンスの推進
- ② 労働災害の発生リスクを組織的に抑制する仕組みの構築
- ③ 行政(労働基準監督署等)指導への対応
- ④ リスク低減対策の改善提案によるコストダウン
- ⑤ 将来の安全衛生リスク改善

## OHSMS診断サービス(JSA up!)

組織のLevel up!、Step up!のためのISO 45001に基づくカスタマイズ診断を受け付けています。

- 例えば、当協会でもISO 14001やISO 9001を取得されている組織様が、ISO 45001の全部又は一部(法規制の順守評価部分のみ等)に準拠した労働安全衛生マネジメントシステムを構築している場合に、当協会所属の専門家が、現状と基準との合致度について客観的評価(診断)を行うものです。
- 認証とは異なり、現状をそのまま評価し、該当の要求事項の適合状態を確認しますが、登録証の発行や、総合的合否判定(判定委員会)を行うものではありません。
- すでに行っている労働安全活動(KY活動、ヒヤリハット活動等)を、より統合されたマネジメントシステム構築の有用なステップとすることができます。



## 資格登録

日本規格協会では、ISO 45001審査を行う審査員の資格登録を行っています。資格区分は、審査員補、審査員、主任審査員となります。資格登録後も、CPD(継続的専門能力開発)を行うことで、審査員としての力量維持を図ることができます。



### ISO 45001審査員認証

OHSMS 審査員 資格区分	申請	研修(いずれかの研修を修了)	OHSAS18001との差分解	実務経験または審査実績
審査員補	新規登録	JRCA承認ISO 45001:2018審査員研修コース	—	<実務経験> ●4年以上の常勤による実務経験(最終学歴が高等学校卒業に満たない場合は、7年以上の常勤による実務経験) ●2年以上の労働安全マネジメント分野における実務経験
		JRCA承認OHSAS 18001:2007審査員研修コース(JRCA筆記試験(ISO 45001)の合格必要)	JRCA登録差分研修コースの受講、差分解のレポート提出等	
	資格拡大(注)	JRCA承認ISO 45001:2018審査員資格拡大研修コース	—	
		JRCA承認OHSAS 18001:2007審査員資格拡大研修コース(JRCA筆記試験(ISO 45001)の合格必要)	JRCA登録差分研修コースの受講、差分解のレポート提出等	
審査員	格上げ	—	—	<審査実績(ISO 45001)> 格上げ申請前3年以内に、メンバー審査実績4回以上、現地審査5日以上
主任審査員	格上げ	—	—	<審査実績(ISO 45001)> ●審査員登録後、リーダーを務める前にメンバー審査実績3回以上 ●格上げ申請前2年以内にリーダー実績3回以上、現地審査5日以上

●資格の維持・更新、料金基準は、QMS審査員と同様です。●IAF加盟認定機関からOHSMSの認定を取得しているMS認証機関に登録されているOHSAS 18001審査員、主任審査員の方は、所定の資格登録要件を満たすことにより、JRCAのISO 45001審査員、主任審査員に直接登録することが可能です。(期間限定措置) ●制度の詳細は、当協会HPの「資格登録」のページでご案内しています。(注)IAF加盟認定機関の認定を取得している要員認証機関に登録しているQMS、EMS、ISMS、FSMS審査員に限る



## 規格・書籍



### 発行中

規格の要求事項を知りたい

**【邦訳版】ISO 45001:2018 労働安全衛生  
マネジメントシステム** - 要求事項及び利用の手引

■ ISO 45001の原文と邦訳を収録

規格の要求事項を知りたい

**JIS Q 45001:2018**

■ ISO 45001の日本語版

さらなる安全衛生水準の向上を図りたい

**JIS Q 45100:2018**

■ ISO 45001と一体で運用する日本独自の規格

### 発行予定

規格の要求事項を知りたい

**対訳ISO 45001 ポケット版 (12月中頃予定)**

■ ISO 45001とJIS Q 45001を対訳で収録  
■ JIS Q 45100も併せて収録  
■ 携行に便利な新書判

詳しい逐条解説が欲しい

**ISO 45001要求事項の解説 (10月末頃予定)**

■ 規格の逐条解説で規格の意図を理解  
■ JIS Q 45100も併せて解説

わかりやすく学びたい

**やさしいISO 45001労働安全衛生  
マネジメントシステム入門 (11月末頃予定)**

■ 初めて取り組む方に  
■ 入門書として最適

ISO 45001の効果的な構築方法を知りたい

**ISO 45001と事業推進(事業プロセス)の統合ガイド(計画中)**

ISO 45001の効果的な運用方法を知りたい

**ISO 45001 活用ガイド(計画中)**



## 研修・セミナー



ISO 45001の規格開発に携わってきた日本規格協会では、最新の情報に基づいた正しい理解を、基礎からしっかり学習していただくため、下記のメニューをご用意しています。

規格の制定経緯、概要、ポイントを知りたい

**JIS Q 45001・45100 労働安全衛生  
マネジメントシステム規格制定説明会**

■ JIS Q 45001・45100のポイント解説  
■ 両規格の認証についても説明

規格の内容を詳しく知りたい

**ISO45001要求事項解釈コース(1日)**

■ 要求事項の逐条解説で正しい理解  
■ OHSMSの構築・活用を解説

内部監査をしたい/内部監査員を養成したい

**ISO45001内部監査員養成コース(2日間)**

■ 演習づくりの2日で実践力を体得  
■ 有意義な監査を実施する力を養成

ISO14001と一緒に内部監査をしたい

**ISO14001内部環境監査員のための  
45001複合監査コース(2日間)**

■ 環境と労働安全を比較して理解  
■ 複合監査のポイントを演習で体得

まずは、情報が欲しい

**受審セミナー(無料)**

■ 規格概要、システムの構築のポイントを説明  
■ 短時間で、無料なので気軽に参加できる



労働安全衛生マネジメントシステム (ISO 45001) 特設ページ  
<https://www.jsa.or.jp/iso45001sp/>

